

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	アグレッシブ NK 細胞白血病に関する多機関共同後方視的研究
	研究目的	アグレッシブ NK 細胞白血病 (Aggressive NK-cell leukemia, ANKL) は日本を含む東アジアで比較的頻度の高い稀な白血病です。先行研究である ANKL07 試験では、1985 年から 2007 年に診断された ANKL 患者さんを対象として、治療内容、生存期間などの検討がなされましたが、非常に進行が速く予後の悪い疾患であることが分かりました。その後、有効な治療法の開発が国内外で進み、現在の治療法は昔とは変化してきていますが、2008 年以降、本邦の ANKL に関するまとまった報告はありませんでした。そこで今回の研究では、主に 2008 年から 2021 に診断された ANKL 患者さんを対象として、ANKL の発症割合や近年の治療法や予後の実態を明らかにすることを目的とします。2007 年以前に診断されて ANKL07 試験に登録されていない ANKL 患者さんについても今回同時に調査を行います。また先行研究との比較検討も行い、ANKL の治療法や予後の年次推移を把握し、今後のより良い治療法の開発を目指しています。
	研究対象者	2021 年 12 月まで当院でアグレッシブ NK 細胞白血病と診断された全ての患者さんが本研究の対象となります。
	研究期間	西 暦 2021 年 12 月 06 日 ~ 西 暦 2025 年 09 月 30 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> その他 (記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	血液・腫瘍内科 医長 高橋 寛行
試料・ 情報を 利用す る者 の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	血液・腫瘍内科
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	島根大学医学部 血液・腫瘍内科学 教授 鈴木 律朗 京都大学医学研究科 腫瘍生物学 講座 越智 陽太郎、小川 誠司